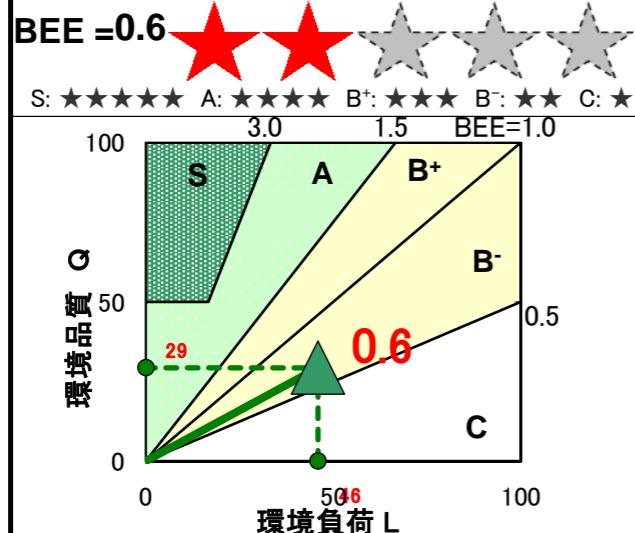
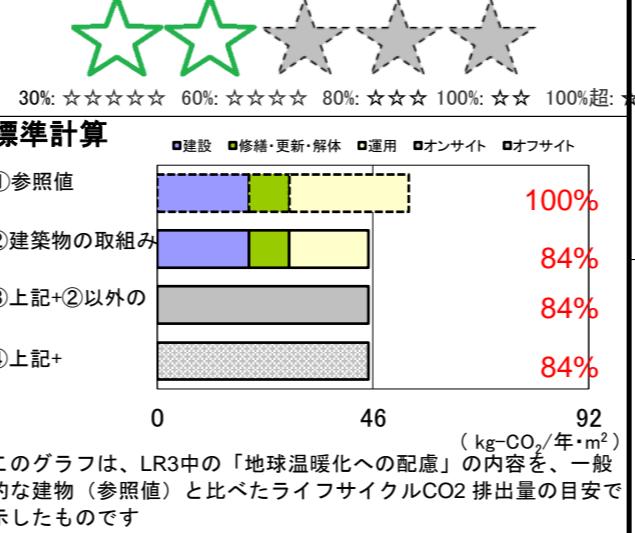
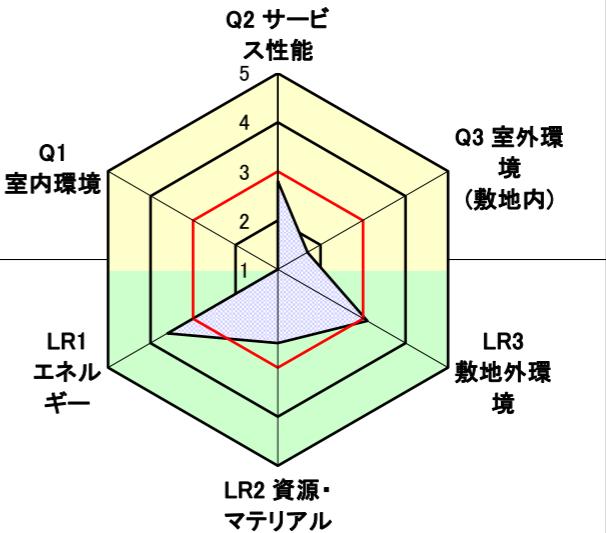


# CASBEE®あいち

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)\_AICHI

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社スリーエス物流本社営業所第三センター	階数	地上3階
建設地	愛知県一宮市丹陽町九日市場字上田80番~93番、136番、137番、140番~148番	構造	S造
用途地域 気候区分	準工業地域 法22条区域 6地域	平均居住人員 年間使用時間	230人 2,080時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2020年9月 予定	評価の実施日	2020年8月7日
敷地面積	12,761 m <sup>2</sup>	作成者	林 尚生
建築面積	6,228 m <sup>2</sup>	確認日	2020年8月7日
延床面積	11,598 m <sup>2</sup>	確認者	中山 幹根

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)		2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)		2-3 大項目の評価(レーダーチャート)																																																																									
BEE = 0.6 ★★	★★★★★ S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B: ★★ C: ★	★★★★★ 30%: ★★★★★ 60%: ★★★★ 80%: ★★★ 100%: ★★ 100%超: ★	標準計算	Q1 室内環境 Q2 サービス性能 Q3 室外環境(敷地内)																																																																									
 <p>このチャートは、BEEランクと環境負荷Lとの関係を示す。Y軸は環境負荷L (0~100)、X軸はBEEランク (0~1.0)。点線で示された目標値(29, 50.6)と実測値(0.6)が比較される。</p>		 <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安を示したもの。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①参照値</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>②建築物の取組み</td> <td>84%</td> </tr> <tr> <td>③上記+②以外の</td> <td>84%</td> </tr> <tr> <td>④上記+</td> <td>84%</td> </tr> </tbody> </table>		項目	値	①参照値	100%	②建築物の取組み	84%	③上記+②以外の	84%	④上記+	84%	 <p>大項目の評価結果を3D棒グラフで示す。軸はQ1 室内環境、Q2 サービス性能、Q3 室外環境(敷地内)。</p>																																																															
項目	値																																																																												
①参照値	100%																																																																												
②建築物の取組み	84%																																																																												
③上記+②以外の	84%																																																																												
④上記+	84%																																																																												
2-4 中項目の評価(バーチャート)																																																																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">Q 環境品質</th> <th colspan="2">Q のスコア = 2.1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">Q1 室内環境</td> <td colspan="2">Q3 室外環境(敷地内)</td> </tr> <tr> <td colspan="4">Q1のスコア = 0.0</td> <td colspan="2">Q3のスコア = 1.7</td> </tr> <tr> <td>音環境</td> <td>温熱環境</td> <td>光・視環境</td> <td>空気質環境</td> <td>生物環境</td> <td>まちなみ</td> </tr> <tr> <td>N.A.</td> <td>N.A.</td> <td>N.A.</td> <td>N.A.</td> <td>1.0</td> <td>2.0</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">LR 環境負荷低減</th> <th colspan="2">LR のスコア = 3.1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">LR1 エネルギー</td> <td colspan="2">LR3 敷地外環境</td> </tr> <tr> <td colspan="4">LR1のスコア = 3.6</td> <td colspan="2">LR3のスコア = 3.1</td> </tr> <tr> <td>建物外皮の</td> <td>自然エネ</td> <td>設備システ</td> <td>効率的</td> <td>地球温暖化</td> <td>地域環境</td> </tr> <tr> <td>N.A.</td> <td>3.0</td> <td>4.4</td> <td>2.0</td> <td>3.6</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td colspan="4"></td> <td colspan="2">周辺環境</td> </tr> <tr> <td colspan="4"></td> <td>2.7</td> <td>2.7</td> </tr> </tbody> </table>						Q 環境品質				Q のスコア = 2.1		Q1 室内環境				Q3 室外環境(敷地内)		Q1のスコア = 0.0				Q3のスコア = 1.7		音環境	温熱環境	光・視環境	空気質環境	生物環境	まちなみ	N.A.	N.A.	N.A.	N.A.	1.0	2.0	LR 環境負荷低減				LR のスコア = 3.1		LR1 エネルギー				LR3 敷地外環境		LR1のスコア = 3.6				LR3のスコア = 3.1		建物外皮の	自然エネ	設備システ	効率的	地球温暖化	地域環境	N.A.	3.0	4.4	2.0	3.6	3.0					周辺環境						2.7	2.7
Q 環境品質				Q のスコア = 2.1																																																																									
Q1 室内環境				Q3 室外環境(敷地内)																																																																									
Q1のスコア = 0.0				Q3のスコア = 1.7																																																																									
音環境	温熱環境	光・視環境	空気質環境	生物環境	まちなみ																																																																								
N.A.	N.A.	N.A.	N.A.	1.0	2.0																																																																								
LR 環境負荷低減				LR のスコア = 3.1																																																																									
LR1 エネルギー				LR3 敷地外環境																																																																									
LR1のスコア = 3.6				LR3のスコア = 3.1																																																																									
建物外皮の	自然エネ	設備システ	効率的	地球温暖化	地域環境																																																																								
N.A.	3.0	4.4	2.0	3.6	3.0																																																																								
				周辺環境																																																																									
				2.7	2.7																																																																								
3 重点項目																																																																													
①地球温暖化への配慮		③敷地内の緑化		④地域材の活用																																																																									
 <p>3.6</p>		 <p>1.0</p>		 <p>1.0</p>																																																																									
																																																																													
<p>各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。</p> <p>①地球温暖化への配慮 LR-3 1 地球温暖化への配慮</p> <p>②資源の有効活用 Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性 LR-2 2 非再生性資源の使用量削減</p> <p>③敷地内の緑化 Q-3 1 生物環境の保全と創出</p>																																																																													
<p>外構緑化指標 = <math>\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)}} \times 100</math></p> <p>建物緑化指標 = <math>\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100</math></p> <p></p>																																																																													

スコアシート		実施設計段階		独自基準	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部		建物全体・共用部		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		重点項目				評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質												2.1
Q1 室内環境												-
1 音環境												-
1.1 室内騒音レベル							3.0	-				
1.2 遮音							3.0	-				
1 開口部遮音性能							3.0	-				
2 界壁遮音性能							3.0	-				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)							3.0	-				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)							3.0	-				
1.3 吸音							3.0	-				
2 溫熱環境							3.0	-				-
2.1 室温制御							3.0	-				
1 室温							3.0	-				
2 外皮性能							3.0	-				
3 ゾーン別制御性							3.0	-				
2.2 湿度制御							3.0	-				
2.3 空調方式							3.0	-				
3 光・視環境							3.0	-				-
3.1 昼光利用							3.0	-				
1 昼光率							3.0	-				
2 方位別開口							3.0	-				
3 昼光利用設備							3.0	-				
3.2 グレア対策							3.0	-				
1 昼光制御							6.0	-				
3.3 照度							3.0	-				
3.4 照明制御							3.0	-				
4 空気質環境							3.0	-				-
4.1 発生源対策							3.0	-				
1 化学汚染物質							3.0	-				
4.2 換気							3.0	-				
1 換気量							3.0	-				
2 自然換気性能							3.0	-				
3 取り入れ外気への配慮							3.0	-				
4.3 運用管理							3.0	-				
1 CO <sub>2</sub> の監視							3.0	-				
2 喫煙の制御							3.0	-				
Q2 サービス性能							-	0.43				2.8
1 機能性							-	-				-
1.1 機能性・使いやすさ							3.0	-				
1 広さ・収納性							3.0	-				
2 高度情報通信設備対応							3.0	-				
3 バリアフリー計画	独自						3.0	-				
1.2 心理性・快適性							3.0	-				
1 広さ感・景観 (天井高)							3.0	-				
2 リフレッシュスペース							3.0	-				
3 内装計画							3.0	-				
1.3 維持管理							3.0	-				
1 維持管理に配慮した設計							3.0	-				
2 維持管理用機能の確保							3.0	-				
2 耐用性・信頼性							0.5	2.8	0.52			2.8
2.1 耐震・免震・制震・制振							0.4	3.0	0.48			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)							3.0	3.0	0.80			
2 免震・制震・制振性能							3.0	3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数			②				0.3	2.7	0.33			
1 車体材料の耐用年数			②				3.0	-	0.23			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔			②				2.0	-	0.23			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔			②				3.0	-	0.09			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔			②				3.0	-	0.08			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔			②				3.0	-	0.15			
6 主要設備機器の更新必要間隔			②				3.0	-	0.23			
2.4 信頼性							0.1	2.6	0.19			
1 空調・換気設備							3.0	3.0	0.20			
2 給排水・衛生設備							3.0	2.0	0.20			
3 電気設備							3.0	3.0	0.20			
4 機械・配管支持方法							3.0	3.0	0.20			
5 通信・情報設備							3.0	2.0	0.20			

3 対応性・更新性	②	シンプルな形状	0.4	2.7	0.48	-	-	-	2.7
			0.3	2.6	0.31	-	-	-	
			-	1.0	0.60	3.0	3.0	3.0	
			3.0	5.0	0.40	3.0	3.0	3.0	
			3.0	3.0	0.31	3.0	3.0	3.0	
			0.3	2.6	0.38	-	-	-	
			-	3.0	0.17	-	-	-	
			3.0	1.0	0.17	-	-	-	
			3.0	3.0	0.11	-	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)	③		3.0	3.0	0.11	-	-	-	
			3.0	3.0	0.22	-	-	-	
			3.0	3.0	0.22	-	-	-	
			-	-	0.57	-	-	-	1.7
			-	1.0	0.30	-	-	-	1.0
			-	2.0	0.40	-	-	-	2.0
LR 建築物の環境負荷低減性	④		0.3	2.0	0.30	-	-	-	
			-	2.0	0.50	-	-	-	
			-	2.0	0.50	-	-	-	
			-	-	-	-	-	-	
LR1 エネルギー	①		-	-	0.40	-	-	-	3.1
			-	-	-	-	-	-	3.6
			3.0	-	-	-	-	-	
1 建物外皮の熱負荷抑制	②		3.0	-	-	-	-	-	
			3.0	3.0	0.13	-	-	-	3.0
			3.0	4.4	0.63	-	-	-	4.4
2 自然エネルギー利用	③		0.2	2.0	0.25	-	-	-	2.0
			1.0	2.0	1.00	-	-	-	
			3.0	3.0	0.50	-	-	-	
3 設備システムの高効率化	④		3.0	1.0	0.50	-	-	-	
			-	-	-	-	-	-	
			3.0	-	-	-	-	-	
4 効率的運用	④		3.0	-	-	-	-	-	
			1.0	-	-	-	-	-	
			3.0	-	-	-	-	-	
集合住宅以外の評価	②		3.0	-	-	-	-	-	
			4.1 モニタリング	-	-	-	-	-	
			4.2 運用管理体制	-	-	-	-	-	
集合住宅の評価	③		3.0	-	-	-	-	-	
			4.1 モニタリング	-	-	-	-	-	
			4.2 運用管理体制	-	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル	④		-	-	-	-	-	-	2.5
			-	-	-	-	-	-	3.4
			0.1	3.4	0.15	-	-	-	
1 水資源保護	②		3.0	4.0	0.40	-	-	-	
			0.6	3.0	0.60	-	-	-	
			3.0	3.0	0.67	-	-	-	
1.1 節水	③		3.0	3.0	0.33	-	-	-	
			-	-	-	-	-	-	
			3.0	-	-	-	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用	④		3.0	-	-	-	-	-	
			1	雨水利用システム導入の有無	-	-	-	-	
			2	雑排水等利用システム導入の有無	-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減	②		0.6	2.5	0.63	-	-	-	2.5
			-	-	-	-	-	-	
			2.1 材料使用量の削減	-	-	-	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用	③		3.0	-	-	-	-	-	
			2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	-	-	-	-	
			2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	-	-	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材	④		3.0	-	-	-	-	-	
			2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	-	-	-	-	-	
			-	-	-	-	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避	②		0.2	2.3	0.22	-	-	-	2.3
			3.0	3.0	0.32	-	-	-	
			0.6	2.0	0.68	-	-	-	
3.1 有害物質を含まない材料の使用	③		-	-	-	-	-	-	
			3.2 フロン・ハロンの回避	-	-	-	-	-	
			1 消火剤	-	-	-	-	-	
1 消火剤	④		3.0	-	-	-	-	-	
			2 発泡剤(断熱材等)	-	-	-	-	-	
			3 冷媒	-	-	-	-	-	
LR3 敷地外環境	①		3.0	-	-	-	-	-	3.1
			3.6	0.33	-	-	-	-	3.6
			0.3	3.0	0.33	-	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮	②		5.0	-	-	-	-	-	
			2.0	-	-	-	-	-	
			0.2	3.0	0.25	-	-	-	
2 地域環境への配慮	③		3.0	-	-	-	-	-	
			3.0	-	-	-	-	-	
			5.0	-	-	-	-	-	
2.1 大気汚染防止	④		3.0	-	-	-	-	-	
			2.0	-	-	-	-	-	
			0.2	3.0	0.25	-	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善	②		3.0	-	-	-	-	-	
			3.0	-	-	-	-	-	
			5.0	-	-	-	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制	③		3.0	-	-	-	-	-	
			3.0	-	-	-	-	-	
			5.0	-	-	-	-	-	
1 雨水排水負荷低減	④		3.0	-	-	-	-	-	
			3.0	-	-	-	-	-	
			5.0	-	-	-	-	-	
2 汚水処理負荷抑制	②		3.0	-	-	-	-	-	
			3.0	-	-	-	-	-	
			5.0	-	-	-	-	-	
3 交通負荷抑制	③		3.0	-	-	-	-</		

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する重み係数	重点項目スコア
<b>① 地球温暖化対策</b>				<b>3.6</b>
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.6	0.10	
<b>② 資源の有効活用</b>				<b>2.6</b>
Q2-2	耐震性・信頼性	2.8	0.22	
Q2-3	対応性・更新性	2.7	0.21	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.5	0.19	
<b>③ 敷地内の緑化</b>				<b>1.0</b>
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.17	外構緑化:9.6%/建物緑化:0%
<b>④ 地域材の活用</b>		(評価ポイント)		<b>1.0</b>
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化  
重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用  $(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}$   
重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用  
重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

## ■ 環境設計の配慮事項

■建物名称 株式会社スリーエス物流本社営業所第三センター

計画上の配慮事項	
総合	注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 外部は単純な建物形状とし景観を損なわないようにした。事務所内部は設備等の更新がしやすいようにOAフロアとした。
Q1 室内環境	注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 対象外
Q2 サービス性能	注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 執務空間としては十分な広さを確保し、天井高さも事務所部分で2.5m以上を確保することで広さ感は十分ある。
Q3 室外環境(敷地内)	注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 建物形状を単純にし、敷地外周廻りに緑地帯を設けて、周囲への調和を考慮した。
LR1 エネルギー	注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 モデル建物法により、BEIm=0.66となり、1以下としている。
LR2 資源・マテリアル	注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 大便器に擬音装置を採用している。
LR3 敷地外環境	注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 敷地内に駐車場を確保することで路上駐車を発生させないようにした。
その他	注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。